



## 第200回ギャラリー展

平成7年5月新築移転のおり、病院内にギャラリーを設け、展示した作品からエネルギーを受け取ってもらい患者さん・家族の励みになるようにと思い努めてきたところです。そして、月一回の展示変えと回を重ね200回となりました。展示に対して多くの方々からご支援・ご協力をいただき続けてこられたと感謝しているところです。

今回の200回記念展はコレクターのご協力により有田色絵界の存在で世界的な名声の酒井田柿右衛門の作品を20点ほど展示することとしました。

柿右衛門の赤絵は約350年前の1643年に完成されたといわれています。その伝統と地道な努力が今日の柿右衛門が世界的に認められるブランドとなったものと思います。そんな伝統と地道な努力をちょっぴり拝借して200回記念展に花を添えたいと思ったところです。

肥前有田で白磁鉢が発見されて約400年前の1616年頃に磁器の焼成に成功したといわれています。

そして柿右衛門の赤絵が1643年に完成されることになります。初代柿右衛門の始まりです。

初期の頃は中国明朝の磁器を手本としたため中国的な絵柄が多かったようですが四代柿右衛門の頃から「鹿に紅葉」「栗に鶉」「秋草」など日本画的な文様が定着したといわれています。

濁手といわれる乳白色の素地に映える美しさは高く評価され柿右衛門様式として高く評価されています。



今回は壺・花入・大皿・小皿・茶器など約20数点を展示します。

第200回ギャラリー展

赤絵 酒井田 柿右衛門の世界  
作品 展

平成25年12月9日～12月27日